

No.643 (改題603号)
2024年
4月24日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三原工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

王子公園 再整備問題

まだまだ あきらめない 市民団体 今後の活動を決定



「王子公園・市民ミーティング」実行委員会は全体会議を開き今後の活動計画について話し合った=3月31日、兵庫県福祉センター

「まだまだあきらめるのは早すぎる」。王子公園(神戸市灘区)の再整備問題は、「大学誘致ありき」の進め方に反対する多くの市民の声を全く聴き入れることのないまま神戸市は計画を進め、昨年12月には関西学院大学との間で基本協定を締結し、今年2月には公園の一部売却を可能とする都市計画案の承認議決まで至っている。こうした局面のなか、「あきらめるのは早すぎる」と、王子公園・市民ミーティング「実行委員会」は3月31日、中央区内で今後の活動計画を協議・決定するための全体会議を開いた。43人の会員らが参加して多くの意見が交わされた。

「王子プールを残せ」の大運動へ

王子動物園恒例の「夜桜通り抜け」の最終日の4月6日夜、「王子公園・市民ミーティング」実行委員会のメンバーは、たくさんの人出で長蛇の列ができた入口と出口の2カ所を、「樹木の伐採やめて」「王子プールを残せ」と書いたプラカードを掲げてスタンディング行動を行った。

「夜桜通り抜け」で宣伝行動

「王子公園・市民ミーティング」実行委員会



王子動物園の「夜桜通り抜け」に来た人たちに写真パネルを使って再整備計画の問題点を説明=4月6日、王子動物園前

「王子プールを残せ」の大運動を起すことについて、王子公園・市民ミーティング「実行委員会」は、4月6日夜、王子公園・市民ミーティング「実行委員会」のメンバーは、たくさんの人出で長蛇の列ができた入口と出口の2カ所を、「樹木の伐採やめて」「王子プールを残せ」と書いたプラカードを掲げてスタンディング行動を行った。

王子動物園恒例の「夜桜通り抜け」の最終日の4月6日夜、「王子公園・市民ミーティング」実行委員会のメンバーは、たくさんの人出で長蛇の列ができた入口と出口の2カ所を、「樹木の伐採やめて」「王子プールを残せ」と書いたプラカードを掲げてスタンディング行動を行った。

の計画・実施などに全力をあげて取り組むことと決めた。再整備計画の問題点をめぐって、市民団体の活動が活発化している。王子公園・市民ミーティング「実行委員会」は、4月6日夜、王子公園・市民ミーティング「実行委員会」のメンバーは、たくさんの人出で長蛇の列ができた入口と出口の2カ所を、「樹木の伐採やめて」「王子プールを残せ」と書いたプラカードを掲げてスタンディング行動を行った。

力水の碑

たつの市には野見宿禰の相撲があり、相撲で歴史のある町である。大和朝廷の時代、出雲出身の野見宿禰が、向かう所敵なしと言われていた当麻蹴速を打ち破り、これが相撲の原点になったと言われている。

(たつの市龍野町)

相撲で頂点を目指す人達には崇敬して止まない存在であり、明治から昭和にかけての大相撲の地方巡業では、華やかな職が町中を彩り、常陸山、太刀山、栃錦、若乃花、朝潮、柏戸、大鵬、栃ノ海、佐田の山など大勢の力士が龍野を訪れ、野見宿禰神社に角道隆盛を祈願した。

ひょうご 77 碑 物語

「立つ野」と呼ばれ、龍野の地名の由来になっている。いまもお野見宿禰は

その参道の入り口付近の小さな力士像の横から「力水」と呼ばれる清らかな水が湧き出ており、



相撲の始祖とされる野見宿禰を祀る神社内の浸き水は「力水」と呼ばれ碑に刻まれた字は第44代横綱栃錦の直筆

傍の石に刻まれた「力水」の文字は第44代横綱栃錦の直筆である。(森山)

ら西へ徒歩約30分。タクシーでは約10分。龍野神社境内から参道へ。マイカーでも無料駐車場有。

「5・3兵庫憲法集会」(5月3日13時~)を1万人規模で成功させよう

総がかり行動兵庫がプレ集会 4.12

総がかり行動兵庫県実行委員会は「5・3兵庫憲法集会」の成功に向けたプレ集会在4月12日、神戸市長田区文化センターで開き、約100人が参加した。集会では長岡徹・関西学院大学名誉教授が「憲法問題について講演。事務局からは「5・3兵庫」



「5・3兵庫憲法集会」の成功に向けたプレ集会在4月12日、神戸市長田区

【おことわり】次号はゴールデンウィークの関係上、5月22日付発行の合併号となり、5月はこの1回のみの発行です。【編集部】

水脈

自民党の金権腐敗と無責任ぶり。党規約による「処分」を関係議員に課して終

わりの算段。兵庫の関係議員で最も重い処分を受けた9区の議員は、花見客でにぎわう公園に現れ、「猛反省し、裸一貫やりなおす」とアピール。派閥裏金や自身の「中抜き」疑惑について「何も知らなかった」が、政治不信を招いた反省はするのだそうだ。▼国会会中に再発防止のための政治資金規正法改正をすると首相は繰り返す。何一つ事実解明なしに提案される「案」とは何か▼3年前、リクルート事件など自民党の金権腐敗が噴き出し、消費税への反発と相まって参院選で与野党逆転となった事態を利用し、「金がかかる選挙の原因は中選挙区制」の大合唱が始まった。怒りの矛先は中選挙区制にすり替えられた▼80年代の中曽根政権から地ならしが進んでいた「小さな政府」は新自由主義政策に大きく舵を切るきっかけに利用され、自衛隊の海外派遣、労働者の消耗品化など規制緩和が徹底された▼戦争する国へ軍備増強が進む一方、国民の生きる権利の最低保障であるべき教育や社会保障、人権確立、差別禁止策は掛け声ばかりという政治を変えることができるのは、今生きる人間だけ。選挙を他人事にはならない。

私の主張

■高齢者の悲鳴、介護職員の疲弊と流出

「介護崩壊」の危機を感じた熟年者ユニオンの呼びかけにより、安心ネットなど7団体で「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」(以下、「兵庫の会」)が昨年10月6日、結成された。「兵庫の会」は、署名活動、パブ

コメ、厚労省への署名提出、神戸市会への陳情などに力を入れた。運動による最大の成果は、与党内からも反対の声が上がり、利用者2割負担の対象拡大の24年度導入を断念させたことである。

■高齢者の悲鳴、介護職員の疲弊と流出

「介護崩壊」の危機を感じた熟年者ユニオンの呼びかけにより、安心ネットなど7団体で「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」(以下、「兵庫の会」)が昨年10月6日、結成された。「兵庫の会」は、署名活動、パブ

万博止めて維新を止めよう

—ヒト・モノ・カネを被災地へ—

共同テーブル近畿が集会



フリージャーナリストの西谷文和さんが講演し維新による大阪・関西万博企画の魂胆を徹底的に批判した=4月6日、大阪市



西谷文和さん

共同テーブル近畿(呼ばけい)池田直樹弁護 6日夜、大阪・P.L.P.会館で開かれ、約100人が参加した。集会のテーマは「万博止めて維新を止めようヒト・モノ・カネを被災地へ」。大阪・関西万博の中止を求める「どないする大阪の未来ネット」の寺本勉さんは、①府や市には廃棄物などで埋め立てらなさいと訴えた。同趣旨の署名は13万4千筆が集約された。

ウクライナやガザなど紛争地の取材や国内の平和・人権問題、原発問題に取り組みフリージャーナリストの西谷文和さんが講演し維新による大阪・関西万博企画の魂胆を徹底的に批判した=4月6日、大阪市

館で開かれ、約100人が参加した。集会のテーマは「万博止めて維新を止めようヒト・モノ・カネを被災地へ」。大阪・関西万博の中止を求める「どないする大阪の未来ネット」の寺本勉さんは、①府や市には廃棄物などで埋め立てらなさいと訴えた。同趣旨の署名は13万4千筆が集約された。

ウクライナやガザなど紛争地の取材や国内の平和・人権問題、原発問題に取り組みフリージャーナリストの西谷文和さんが講演し維新による大阪・関西万博企画の魂胆を徹底的に批判した=4月6日、大阪市

高まる負担と流出する介護職員 強まる介護崩壊を食い止めよう

「介護崩壊」の危機を感じた熟年者ユニオンの呼びかけにより、安心ネットなど7団体で「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」(以下、「兵庫の会」)が昨年10月6日、結成された。「兵庫の会」は、署名活動、パブ

改憲の動きをウォッチング

軍事力強化へまっしぐら 空母保有や日本版海兵隊の配備など

岸田首相は防衛大学校の卒業式の訓示で「日本周辺では、軍備増強が急速に進み、力による一方的な現状変更の圧力が高まっている(NHK)」と指摘し、軍事力の抜本的強化を強調した。

いま、岸田政権は軍事力強化に向かって突進している。

◆歴代政権が憲法上、保有が許されないとされてきた「攻撃型空母」に向けて、海自の大型護衛艦「いずも」と「かが」の改修を急いでいる。甲板などの大規模な改修によって、航空自衛隊のステルス戦闘機F35Bの発着が可能となる。

◆日本版海兵隊と言われる「水陸機動団」は離島が侵襲された場合の奪還作戦などを主な任務として、2018年に創設されて以降、段階的に部隊の配備が進められていたが、部隊の中核を担う3つ目の連隊が長崎県の竹松駐屯地に配備された。およそ3300人の体制となる。計画され

的になる不安などから22力所の自治体で継続協議となっている。沖縄県も国と石垣市が管理する2力所が指定されたが、県管理のものとは同意していない。

「特定利用空港・港湾は、戦争する国づくりの一環である。」

◆「経済安全保障上の機密情報」を扱う事業者らに身辺調査する「重要経済安保管護法案」が9日、衆院で可決された(東京)。反対は共産党とれいわだけだった。

政府がどんな情報を機密として扱うのか、また具体的な制度設計が政令や運用基準に委ねられるなど、多くの不透明点や疑問は解消されないまま、審議は参院に移る。詳細は、法成立後に閣議決定する運用基準で定める。

重要情報や扱う会社員らは犯罪歴など7項目の身辺調査を受ける。情報漏えいには5年以下の拘禁刑など。

反対討論に立った塩川議員は「法案は米国などの同盟国・同志国と兵器の共同開発を推進するものだ。憲法の平和主義を投げ捨てる暴挙だ」と厳しく批判した。

(中)

辺野古の攻防の現状を報告

市民デモHYOGOが集会開催

沖繩・辺野古新基地建設が強行されている中、「市民デモHYOGO」の呼びかけで3月31日、神戸市内で「いま、大浦湾の埋め立ては」と題する集いが開かれ、約60人が参加した。

辺野古・大浦湾一帯は世界的にも豊かな生物の多様性を誇る宝物のよう



「辺野古ぶるーカヌーチーム」の2人が来神し、大浦湾の埋め立てをめぐる攻防を報告した集会＝3月31日、神戸中央区

な海だが、サンゴが群生している自然豊かな大浦湾にいま砕石や土砂が投入され、沖繩県はサンゴの移植をめぐる国と裁判で争っている。

集いでは大浦湾で抗議行動を続けている「辺野古ぶるーカヌーチーム」の千葉和夫さんと鈴木公子さんが大浦湾で起こ

ている現状を報告した。まず、鈴木公子さんが辺野古の埋立工事を鮮明な画像で分かりやすく説明。1月10日に国の代執行で初めて大浦湾に採石が投入され、辺野古ぶるーカヌーチームは臨時制限区域の中に入って抗議行動を行っているが、海上保安庁のGB(ゴムボート)による妨害が続いていることを紹介した。同じくカヌーチームの千葉和夫さんは、海保のGBによってこれまで5回も怪我をさせられ、現在も訴訟中で、その暴行の様子を動画で説明し、「海保も悩んでいる人が多く、辞める人が多い」と語った。

老朽原発ただちに廃炉

現地・美浜町で全国集会とデモ

「老朽原発動かすな！実行委員会」主催の「老朽原発ただちに廃炉！美浜全国集会」が3月31日、福井県美浜町で開かれ、全国各地から400人が参加した。

神戸からはマイクロバスで、運転の関西生コン支部の2人を含めて25人が現地に向かい、現地直

行者を入ると兵庫からは30人超が参加した。集会では中島哲彦さんや井戸謙一弁護士がこの間の司法の不当判決(美浜原発3号機運転差止め仮処分での「不当決定」など)を報告。

特別報告は、北陸電力・関西電力などが珠洲原発の建設を公表した1

976年から「計画凍結」の2003年までを含め長く闘い続ける北野進さんの報告。北野さんは、志賀原発近くの海岸地域が4層も隆起したことから、全国の原発すべての問題だと指摘した。

集会後のデモは、「地震で道路も壊れれば、原発からも逃げられない。今

武器輸出問題を考える

吉江仁子弁護士が講演

第9回東灘憲法カフェを開催

しい」と訴えた。鈴木さんと千葉さんのフェイスブックで、「Okina Peace Appeal Chiba

Kazuo(またはSuzuki Kimiko)で検索すれば日々の動きを見ることが出来る。(中村)

今回のテーマ「日本が『平和国家』でなくなる?」の副題として、「殺傷兵器・パトリオットミサイルを輸出へ」を昨年末に決めたが、その後の政治情勢の推移により、講師の吉江仁子弁護士は「殺傷能力のある武器の第三国への輸出解禁へ」と変更せざるを得なかった。

今回のテーマは、武器輸出が憲法違反にもつな

吉江弁護士からは参加者に「平和国家なのにおかしい?」と問いかけがあった。

アンケートには「とてもいいねいなレジュメで分かりやすく、仕組みがよく分かった」や「岸田政権は、国民主権の憲法の基本理念に関わることを次々と閣議決定で決めている。国会での議論もなく、国民の意見も聞か

福田純子さんを偲ぶ会

党・まなぶ友の会・医療生協などで幅広く活動



福田純子さん

までやり抜いた。

(菅野逸雄)

今年2月19日に不慮の事故で急逝した福田純子さん(享年81歳。新社会党中央総支部所属、元東本支部執行委員)を偲ぶ会が4月7日、居住してい

たポートアイランドの団地の集会所で開かれ、約80人が参列した。

絵を描くことが好きだった福田さんの作品も展示された会場で、会はあ

が、どんなときも、誰に對しても忘れなかった福田さんの印象的な笑顔のことだった。福田さんの優しく温かな人柄が浮かび、悲しみの中にも笑ひも起こる会となった。



憲法を生かす会・東灘とろっこう医療生協の共催で開かれた東灘憲法カフェ＝3月30日



美浜現地で開かれた全国集会には全国から400人が参加し兵庫からも30人超が参加してデモ行進＝3月31日、福井県美浜町

な活動でつなごうと、福田さんが参列した。新社会党、まなぶ友の会、アイ女性会議、熟年者ユニオン、とろっこう医療生協など



笑顔絶やさず活動した福田純子さんを偲び80人が参列した＝4月7日

地域ユニオン あちこちあれこれ

3月に3件の労働相談が寄せられた。いずれも福祉関係の職場だ。うち1件は定期的な配布しているピラを見て事務所に来訪、あと2件は知人からの情報でユニオンを知って電話をかけて来たもの。少しずつユニオンの存在が知られて来ているというところだ。

ユニオンあしやは、パワハラ問題に関わる案件を、昨年来のことも含めて現在4件を執行部を中心に同時進行で取り組んでいる。そのいずれにも共通しているのは、相談者が非人間的に扱われているということだ。特徴的な身体を報告する。

◆3役と相談者で団体交渉の申し入れに会社を訪問した際、若い事業主曰く「年寄とおばさんは帰ってこれ!もって若い人を寄こしてこれ!」(60歳の相談者に向かって)「お前も来たんか!」これが児童福祉関係の職場の責任者の言葉である。この相談者は、入社して退職するまでの2カ月間、健

いま芦屋で起きていること

就業規則の不備が原因で退職の事務処理が適切に行われず、本人が関係機関に何度も足を運ぶという不手際には誠意ある対応をせず、ユニオンからの指摘を受けて動き出すという始末。パート労働者への尊厳の気持がかけられないことを白日の下にさらした。

以上、断片的ではあるが概括的な現状の報告としたい。

大野克美(ユニオンあしや副委員長)

康保険証を手にするにはなかった。

◆経営者が職員にバインダーを投げつけるという残業代未払いの相談者の話。

◆理事者側の一方的な都合による「解雇通知」を受けた相談者。4月から始まる子どもを対象とした事業の責任者の解雇問題で、解雇された場合、子どもにも影響が出る大きな社会問題になる。第1回の団体交渉でとりあえず3か月の解雇留保となり、その後については団体交渉を持つこととなった。

◆昨年からパワハラ問題についての案件は、長年勤務してきて退職するパート労働者(組合員)に對する会社の理不尽な扱いに對する抗議などで一時中断したが、事情はこうである。

若者のひろば

先日、兵庫県本部青年委員会単発学習会「いっしょに考えよう」が労働者の権利 基本のキって何だろう」に参加しました。

県本部執行委員の森正美さんから、労働運動の経験、働く人のいじめや権利を守るなど、労働運動のはじめ方など、貴重なお話を聞くことができました。

私はこれまで2度転職し、現在4社目の会社に勤めています。労働運動を行ったことはありません。

17年間ずっとITの仕事をしていましたが、過去に勤めた3社では、他社のシステムを受託開発・運用する請負案件ばかりで、納期が近づき毎日3〜5時間ほどの残業が続いて不満が溜まって、長くて2ヶ月ほどで状況が変わり（納期の山場を越えたり、納期が延びたり）、時間外残業手当は出るのに一時的に手取りが増えました。そして案件が変わり、残業はなくなり不満も薄れる、ということを繰り返してきて、職場改善を訴えようと思いましたがありませんでした。残業が続いているのは今だけでずっと続くものではない、ということが分かっていて、当時の上司に次の案件では



前のような残業続きにはさせない、と言いくるめられていたからだ、今では思いません。

現在勤めている会社では、自社システムの運用・保守を行っており、一昨年夏から1年間は新規システム開発チーム担当となつたため、ほぼ毎日1〜2時間の残業が続きました。

私にとっての労働運動

神的にも辛かったです。また、追い打ちをかけるように、家に帰ると父から、私の残業が減らないのは私が労働運動もせず会社の都合の良いように働いているからだ、と説教されました。しんどい日々でしたが、父のおかげで、円安、物価高でも賃金の底上げを図ろうとしない会社の姿勢に対して、私にも疑問が出てきました。

労働運動というと、会社と対立して要求を通すためにストライキをする、という強引な印象がありました。先日の学習会の森さんのお話を聞いてから随分変わりました。森さんの労働運動の経験は、困っている人の意見を雇用主側に伝え、困りごとを解決・調整されている、弱者に寄り添った行動だと感じました。私も自分のためだけにではなく、一緒に働く仲間のためにも、労働者の権利を守り、労働環境を良くするための行動を起そう、会社への要求をまとめて会社に伝え交渉するという労働運動をやってみよう、と思いました。

まずは、職場の人たちと集まって話し合うところから。

この2冊の本は「橋大学社会学部 加藤圭木ゼミ」の学生達5人が編集し、大月書店より出版された。最初の「モヤモヤ本I」は21年7月に刊行後8ヶ月で累計1万部を達成。一般の新聞・雑誌などには取り上げられなかったのにSNSで広がり、23年11月には「モヤモヤ本II」が出版。学部生だった彼女・彼らはそれぞれ大学院生、社会人となった。

一般雑誌の中で雑誌『世界』だけが22年9月号で取り上げていたのが目に留まり、図書館に予約した。今どきのエリート大学生たちは、日韓関係などというものをどんなふうと感じているのか、韓流ブームと言われているけど本当のところはどうなのか。周囲に若者がいない生活をしている私が好奇心半分

シネマランド

「原爆の父」の葛藤と苦悩を描く

1926年、ハーバード大学を最優秀の成績で卒業したオッペンハイマーは、イギリスのケンブリッジ大学に留学するが、その環境に馴染めずドイツのゲッティンゲン大学に留学する。1929年に博士号を取得しアメリカに戻った彼は、ハーレー校で教鞭を取るかわら、核分裂を応用した原子爆弾実現の可能性を感じるようになる。1938年、ナチス・ドイツの下で核分裂が発見され、原爆開発は時間の問題と考えられた。

ユダヤ人でもある彼は、

1942年、オッペンハイマーはアメリカ軍のレズリー・グロウヴス准将から呼び出される。ナチス・ドイツの勢いに焦りを感じていたアメリカは、原爆の開発・製造のための極秘プロジェクト「マンハッタン計画」を立ち上げ、オッペンハイマーが優秀な科学者と聞きつけたので、原爆開発チームのリーダーに抜擢されたのだ。オッペンハイマーは1943年、ニューメキシコ州のロスアラモス国立研究所を設立して所長に就任し、全米から優秀な科学者を集め、精力的に開発を主導した。

ユダヤ人でもある彼は、

1945年7月16日、原爆開発が実を結び、人類史上初の核実験「トリニティ」が成功した。オッペンハイマーは計画の何とんでもないことを成させたかった。しかし、1945年5月8日、ナチス・ドイツが降伏した。だが、未だに戦い続けている日本に照準を切り替えていく。

1945年7月16日、原爆開発が実を結び、人類史上初の核実験「トリニティ」が成功した。オッペンハイマーは計画の何とんでもないことを成させたかった。しかし、1945年5月8日、ナチス・ドイツが降伏した。だが、未だに戦い続けている日本に照準を切り替えていく。



成功を喜んだものの、8月6日に広島、9日に長崎に実際に原爆が投下されると、その惨状を聞いた彼は深く苦悩する。

戦後、オッペンハイマーは多くのアメリカ兵を救った英雄として賞賛されたが、時代は冷戦突入。アメリカ政府はさらなる威力を持つ水爆の開発を推進するため、オッペンハイマーをフリストン高等研究所の所長に抜擢、また、原子力委員会のアドバイザーに推薦したが、オッペンハイマーは、核開発競争の加速を懸念し、水爆開発には反対の姿勢を取った。オッペンハイマーは、トルーマン大統領に直訴し、核兵器がもたらす甚大な被害を食い止めるために、

国際的な核兵器管理機関の創設を提案したが、大統領は彼を「弱虫」と揶揄するとともに、「赤狩り」の一環として共産党との関わりを詰める。

オッペンハイマーの写真は、ネクタイに背広姿で帽子を被りダンディである。ロスアラモスでも「なぜ軍服を着ないのか」と尋ねられる場面がある。彼は、「軍として仕事をしているのではない」と言う。純粋に科学者として原爆を開発したのだから、政府にとってはそんなことは関係ない。原爆は政治に都合の良いように色付けされた兵器となった。

監督クリストファ・ノーランの2023年/米/180分

編者のうち大学院へ進み、現在、韓国留学中の一人は、肌で日本と韓国の若者の政治や社会問題に対する態度や考え方の差を感じ、それが韓国の民主主義の歴史の差から生じているのではないかと考える。

日本は、民衆の運動で軍事政権を倒した韓国とは違って、真の民主主義を自分たちで闘い、勝ち取るという経験をしていないから、それを守っていく努力も少ない。せっかく与えられた「表現の自由」も多くの人は行使しようとしていない。だから一部のヘイトスピーカー達が「表現の自由だから」と言ってもな主張をする人々が委縮してしまっているのが日本の現状ではないか？

そんなことをこの本を読みながら考えさせられた。現在を考える上で改めて歴史を知ることが必須であると思う。

モヤモヤ本Iの出版後、しばらく猛威を振ったコロナも徐々に小康状態となり、日韓

本棚

老若男女のための日韓問題入門書

モヤモヤ本I、IIには多くの座談会の内容が紹介されていて、IIでは中学校で加害の歴史を教えている平井美津子さんも登場する。また、大阪・生野や京都・ウトロの歴史と現在、多摩川でのフィールドワークのことなども紹介され、入門書の域を超えた内容になっている。

モヤモヤ本Iと表記。加藤圭木監修/朝倉希実加・李相賢・牛木未来・沖田まい・熊野功英編/大月書店/1600円+税。同後者を「モヤモヤ本II」と表記。監修・編・発行はIと同じ。1800円+税

のトップは交代したが、今後進展は望めるのか？何より「慰安婦問題」にしろ、「徴用工問題」にしろ、「在日朝鮮人差別」にしろ、日本と朝鮮半島との問題は「日韓」関係だけではない。朝鮮民主主義人民共和国との関係抜きでは本当の問題解決にはならないということ。これらの本を作った彼らは気付き、歩んでいこうとしている。例えば、あえて北朝鮮の領域での日本の植民地時代の歴史を研究しようとしている者。大学の外で様々な市民の運動・団体に参加する者など。

とにかく、韓流も嫌韓も含めて、考え、学び、行動すべきことは沢山あるということ。気付かせてくれるモヤモヤ本I、IIだ。

(藤田ふみ子)